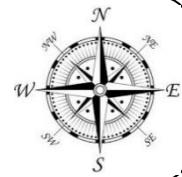


羅針盤



太秦中学校
進路指導部
12月 8日
No.51

いよいよ、来週から三者懇談！

令和6年3月中学校及び特別支援学校中学部等卒業予定者の進路希望状況

11月29日に配布した資料を覚えていますか。たくさんの数字が並んでいた資料です。

先月のはじめに、三者懇談を終えてみなさんからとった進路希望調査をもとに作られています。この進路希望調査は府内の他の学校でも行われていて、卒業する予定の生徒の京都府公立高等学校への進学状況を主として、令和5年11月10日現在で調査した結果をまとめたものです。私立高校への進学希望状況は載っていません。



この結果は、第1希望とする高等学校・学科などについて調査したものです。第1志望第2順位や第2志望のものは含まれていないので、実際の中期選抜ではそれらの希望者がまわって入ってくることがあります。

また、この結果は皆さんと同じ11月の段階での調査結果なので、このあと変わる可能性は大いにあります。あまりこの結果にだけ左右されないようにしてください。

また前期選抜については、「倍率」がのせてあります。募集人数に対する志願者数の割合で、同じ場合だと1.00、志願者が多いほど数字は大きくなります。

前期選抜の場合、「A (A1) 方式」は報告書（3年間の成績）と当日の学力調査と面接（作文）により選抜されます。「B (A2) 方式」と「C 方式」は報告書（3年間の成績）と面接（作文）、学校により当日の学力調査と「活動実績報告書」があります。この活動実績報告書は中学校での実績と受験までにその学校の体験などに参加して、高校の先生がこの生徒はどれくらいの実績になるかの判断をされて決まるので、いくら倍率が低いからと言っても、一度もその高校の体験に行っていなければ受験しても合格する確率は低いです。

この調査は京都府の公立高校を志望する人数であり、私立高校を志望する人はいません。なぜないのでしょう。それは公立高校は受験して合格すれば必ず行くという専願受験なのに対し、私立高校は専願（推薦）受験もあれば併願受験もあります。莫大な人数になるとともにいろいろな地域から受験できるので、集計できないからです。

いよいよ来週から三者懇談会が始まります。懇談会までに、おうちの人としっかりと話し合っておいてください。自分の進路は自分で決めるものです。周りの人の意見などをしっかりと聞いて、自分の進路を自分で決めてください。